



東京屋外広告協会は70周年の節目の時期

公益社団法人 東京屋外広告協会
 会長 大久保 秀夫

新年度に入り、皆様におかれましては気持ちを新たにお仕事に取り組まれていることと存じます。

さて、今日、注目すべき世界情勢は北朝鮮の動向であります。4月には南北首脳会談が実現し、今後に向けて目が離せません。一方、日本国内では、東京オリンピック・パラリンピックの開催まであと2年余りとなりました。東京都内各地では大会会場やインフラ整備が着々と進められ、最近ではオリンピックマークを目にする機会が多くなるなど機運醸成も図られてきております。また、年々増え続ける訪日外客は2017年には約2800万人を越え、街中での外国人観光客の姿はもはや日常の光景となるなど、改めて東京の景観への関心も高まっております。

東京だけでなく都市の姿は時代を反映して変化していきます。歴史的に変わりゆく街と共に歩んできた屋外広告は、街の姿に不可欠な存在であることはいまでもありません。

このような中、東京屋外広告協会は2017年に70周年を迎えましたが、今年11月の東京商工会議所の新ビル完成を期に、来年1月には記念行事を予定いたしております。さらに、本年度は隔年実施の第11回東京屋外広告コンクール、そして東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れた活動が増えてくるかと存じます。

70周年の節目を迎え、これからも会員の皆様を始め関係機関と協力しながら質の高い事業展開ができるように努めてまいりたいと存じます。

(東京商工会議所副会頭・株式会社フォーバル会長)

特集

◇「配電地上機器」を活用した新たな情報発信
 ～自治体の公共表示などに活用～ 2～3頁

行政の情報

◇世田谷区風景づくり条例に基づく「屋外広告物
 に関する協議」が始まります。 4頁

◇「町田市屋外広告物ガイドライン（景観編）」の
 景観事前相談のご協力のお願い 5頁

特別セミナー開催

◇注目のエリア渋谷駅前再開発と大丸有地区の
 現在 6頁

平成30年度事業計画 7～8頁

平成30年度収支予算 9～10頁

理事会・各委員会 11頁

◇日本のサインと空間デザイン 12頁

事務局だより 12頁

あなたの未来を、カタチに。



株式会社フジサワ・コーポレーション

藤澤工業株式会社 株式会社ローヤルカラー 株式会社サワダ

<http://www.fujisawa-corp.co.jp>

本社 〒171-0051 東京都豊島区長崎1丁目10番地8号
 コマーシャル・イメージング事業部 TEL 03-3973-1641 / FAX 03-3973-2517

「配電地上機器」を活用した新たな情報発信 ～自治体の公共表示などに活用～

無電柱化の推進により電柱に代わって設置される「配電地上機器」が増加傾向にあります。

その「配電地上機器」を活用したデジタルサイネージによる観光情報などの公共表示をはじめ、様々な情報発信の方法が各地で始まっています。特に積極的に進めている取り組みを中心に、これからのこの新たな情報発信方法を探っていきます。

◆東京電力グループにおける配電地上機器を活用した情報発信方法を事例に

■「配電地上機器」が増加傾向 ～約 600 基に避難誘導・名所案内・地域のにぎわい醸成～

東電タウンプランニング(株)は、「配電事業」(配電設備の設計、測量、検査、巡視点検等)、「広告事業」(電柱広告やセールスプロモーション)、「無電柱化・地域開発事業」(無電柱化事業の調査・検討・設計・施工等)を柱とする総合的なまちづくり企業を目指している東京電力グループの会社です。

現在、同社の広告事業の中心である電柱広告は、法令・地域環境などに配慮した屋外広告として、店舗案内や地域の公共情報の発信などを目的に大変多く利用されていますが、無電柱化の推進により電柱に代わって設置される「配電地上機器」※1が増加傾向にあり、その設置件数は約5万基に及んでいます。(東京電力パワーグリッド株式会社(東電PG)管内)※2

東電タウンプランニング(株)では配電地上機器に対し、公共表示の掲出スペースとして自治体が活用できる事業を展開しており、東電PGエリア内で約600基の配電地上機器に避難誘導・名所案内・地域のにぎわい醸成等の公共情報が表示されています。

※1 電柱に設置している変圧器や開閉器を、地中化に伴い地上のボックスに収めた電気設備

※2 東京電力パワーグリッド株式会社とは首都圏エリアで、送配電ネットワークを活用し、電力の供給等を行う送配電事業会社



事例：東京都新宿区



事例：茨城県水戸市



事例：埼玉県さいたま市

■ Smart Street プロジェクトの取り組み

1. 地上機器デジタルサイネージ実証実験「ストリートサイネージ」

東電PG(株)、パナソニック(株)、パナソニック システムソリューションズ ジャパン(株)、と東電タウンプランニング(株)では、配電地上機器を活用した新たな情報発信デバイスの企画開発を「Smart Street プロジェクト」として検討を進めており、都内2か所で配電地上機器の上部にデジタルサイネージを設置し、屋外での実証実験を継続して行っています。

<配電地上機器デジタルサイネージ実証試験事例>

- ① 上野恩賜公園内(初の屋外設置) 東電PG(株)、大日本印刷(株)、朝日新聞社との共同試験

期間：2017年6月～2018年5月末

場所：上野恩賜公園内(東京都美術館そば)

コンテンツ：上野恩賜公園内美術館、博物館企画展等の告知



事例：上野恩賜公園

人が通う。心が、かよい合う。

交通メディアのトータルプランニング

Advertising Agency

SHUNKOSHA

株式会社春光社

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-5 TEL:03-3538-9320 (代) http://www.shunkosha.co.jp/

- ② 港区田町駅前（初の道路上設置）
 期間：2018年4月～2019年3月末
 場所：田町駅東口
 コンテンツ：港区区政情報等

このような配電地上機器の上部活用のメリットは、掘削工事が不要であることと配電設備のため停電リスクが低いことです。自治体が配信する帰宅困難者対策・防災情報を始め、東京五輪で見込まれる観光・地域情報案内の提供などの活用に期待される事例の一つです。

2. 地上機器「ストリートサイネージ（カバー型）」実証実験

NPO法人日本ブラインドサッカー協会、東電PG(株)、パナソニック(株)、東電タウンプランニング(株)と品川区役所が協力して行った実証実験では※3、IBSAブラインドサッカーワールドグランプリ2018大会会場周辺(天王洲エリア)の地上機器8基に「ストリートサイネージ(カバータイプICT機能付)」を設置。試合結果などのリアルタイム情報を発信しました。大会開催の賑わい醸成に一役買うという効果もあり、現在、短期イベントの告知や会場への誘導を目的に、機動的かつ簡易に取り付けできる仕様についてさらに検討を進めている状況です。

※3 公共ラッピングサービス以外は、実証実験を前提に関係自治体が協力しています。

- <ストリートサイネージ(カバータイプICT機能付)実証実験事例>
 期間：2018年3月16日(金)～3月25日(日)
 場所：天王洲アイル駅付近



事例：港区田町駅前



事例：ストリートサイネージ(カバータイプICT機能付)

3. 未来型の活用イメージ

将来的には配電地上機器が道路に面していることを生かし、電気自動車用充電器を取り付けた給電スタンド機能などの屋外での電力利用サービスや、専用センサーを併設することで実現する自動運転アシスト機能に加え、気温センサーによる熱中症注意喚起を行う機能を付帯したサービス等の検討をしていきます。



■安全で安心なまちづくりや日々の生活の利便性向上に貢献

東京電力グループでは配電地上機器の設置規模と立地性を最大限に生かした有用性や実現性について検証を進め、関係する諸機関との協議・調整を積極的に行い、安全で安心なまちづくりや日々の生活の利便性向上に貢献し、東京五輪においても街中での情報配信に向けた新たな取り組みの展開を目指しています。

今後、配電地上機器を活用した情報発信が人々の生活の利便性や安全安心に繋がる新たな活用方法として広がっていくことが大いに期待されます。

協力：東電タウンプランニング株式会社 CS事業本部 アセットサービス部

地域コミュニケーションは、
良質なメディアで。

●電柱広告●交通広告●屋外広告●広告企画

株式会社
東 広

本 社 〒104-0045 東京都中央区築地1-12-22 コンワビル5階
Tel.03(3546)1050(代) Fax.03(3546)1060

ホームページ <http://www.toko-ad.co.jp>

行政の情報

世田谷区風景づくり条例に基づく「屋外広告物に関する協議」が始まります。

世田谷区は、平成19年12月に東京都の区市町村では初の景観行政団体となり、「風景づくり計画」を策定し、地域特性を踏まえた良好な風景の形成に向けて様々な取組みを行っています。屋外広告物は、風景に大きな影響を与える要素の一つであるため、このたび世田谷区では、屋外広告物を計画する上での周辺の風景への配慮事項等を示した「風景づくりのガイドライン（屋外広告物編）」を策定しました（ガイドラインは、区のホームページでご覧になれます）。

ガイドラインでは、区全域を対象とした屋外広告物を計画する上での基本事項を整理した「区全域の方針」に加え、地域ごとの特性に応じた誘導指針を定めた「地域別の方針」を示しています。具体的な改善例やイメージイラストを活用しながら、魅力的な風景づくりのポイントや周辺への配慮事項を分かりやすく表現しています。

また、表示面積が大きく、視認性の高い屋外広告物が多く見られる環状7号線及び環状8号線沿道で屋外広告物を計画する場合は、屋外広告物の色彩や大きさ・位置、デザイン、周辺の風景との調和などに関する協議が新たに必要となります（平成30年7月1日以降に東京都屋外広告物条例に基づく許可申請を行う屋外広告物が対象となります）。協議が必要な屋外広告物については、許可申請の前かつデザインの変更可能な段階で世田谷区との協議をお願いいたします。



風景づくりのガイドライン
（屋外広告物編）



誘導イメージの一例

●協議が必要な屋外広告物

〔区域〕 環状7号線及び環状8号線に面する敷地

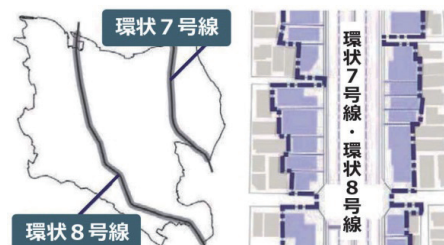
〔規模〕 東京都屋外広告物条例に定める屋外広告物で表示面積の合計が10m²を超えるもの

〔行為〕 屋外広告物の設置又は表示内容の変更

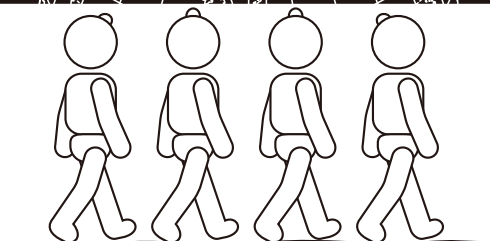
●問い合わせ先

世田谷区 都市整備政策部 都市デザイン課

〒154-8504 東京都世田谷区世田谷 4-21-27 TEL: 03-5432-2039 FAX: 03-5432-3084



進化するOOH。
メディア開発力のNKB。



つい見てしまう。なぜか気になってしまう。
そんな広告を作りませんか？
生活者の行動を捉えるプランニング力と、
最新技術を取り入れたメディア開発力で、
御社のプロモーションを強力にサポートいたします。

INTERACTIVE COMMUNICATION
NKB INC.

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル
TEL.03-3504-2100(代)
<http://www.nkb.co.jp/>

行政の情報

「町田市屋外広告物ガイドライン（景観編）」の景観事前相談のご協力のお願い

町田市は、市内の屋外広告物による良好な景観づくりを実現するため、2018年4月から「町田市屋外広告物ガイドライン（景観編）」の運用を開始しました。

屋外広告物を計画する際は、ガイドラインの内容を踏まえた景観事前相談へのご協力をお願いします。

ガイドラインで屋外広告物をより良いものに

ガイドラインでは、屋外広告物を計画する上での景観面の配慮事項を、市内各地域の景観特性に合わせてそれぞれ示しています。また、設置位置、規模、情報、文字、色彩など、基本的なデザインのポイントも示しています。

ガイドラインを活用することで、景観に配慮した屋外広告物を少しでも多く増やし、良好な景観づくりを目指します。



2018年4月 町田市



対象とする広告物の範囲を広げたガイドライン

ガイドラインでは、東京都屋外広告物条例で取り扱う屋外広告物に加え、屋外に向けて情報（店舗や建物の名称、営業内容など）を発信するもの全般を対象としており、特に以下の広告表現に対しても配慮事項を示しています。

- ・映像装置つき広告物（デジタルサイネージ）
- ・窓の内側から屋外に向けて掲出される広告物（窓面利用広告物）
- ・自動販売機にラッピングされた広告物
- ・建築物と広告物が一体となってデザインされたもの

景観事前相談のお願い

町田市ホームページで公開している「町田市屋外広告物ガイドライン（景観編）」をお読みいただき、広告物のデザインが決まる前にご相談をお願いします。

【提出書類（正・副1部）】

- ・景観事前相談申請書（市指定の様式）
- ・チェックシート（市指定の様式）
- ・付近見取り図
- ・現況カラー写真（設置場所周辺及び設置建物）
- ・各立面図（設置する建築物等を含む）
- ・各デザイン図（寸法、素材、色彩のマンセル値等を記入）
- ・モニタージュ写真

町田市 都市づくり部 地区街づくり課 街づくり景観係（市庁舎8階804窓口）

〒194-8520 町田市森野2-2-22 電話 042-724-4267（直通）

E-mail : toshi070_01@city.machida.tokyo.jp

企画からデザイン・撮影・施工まで、あらゆる
ビジュアルニーズに応える総合コマーシャルラボ。

デジタルの美しさを、人へ、街へ。

- 銀塩写真、インクジェット出力ともにデジタル対応
- 屋外広告やバス/地下鉄のラッピングなど幅広く対応

IGG 株式会社 ラボ・銀座
東京都中央区日本橋箱崎町20-13
TEL. 03-5614-4440 〒103-0015

特別セミナー開催

注目のエリア渋谷駅前再開発と大丸有地区の現在

東京屋外広告協会は3月20日に学士会館（千代田区神田錦町）にて、事業委員会主催による特別セミナーを開催しました。当日の参加者は約100人。会場は満席となりました。

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、各方面で準備が急ピッチで進められている中、都内各エリアでは再開発により新たな街並みが次々に誕生しています。同セミナーでは中でも注目エリアの大手町・丸の内・有楽町地区と渋谷駅周辺の再開発についてそれぞれの最前線にいる担当者を講師に招き最新の話をお聞きしました。



大塚尚司事業委員長の挨拶により開会。

第1部は「渋谷文化と駅前再開発」と題して東京急行電鉄株式会社 都市創造本部 開発事業部 事業計画部渋谷まちづくり担当 課長の山口勘太郎氏が講演しました。



山口氏はまず会社の概要やこれまで進めてきた事業や渋谷地区の文化形成を歴史的に説明しました。渋谷の再開発事業の完成は2027年の予定で、今後も新しいビルが次々建てられるとのこと。交通のスムーズな動線、多くの交流や賑わいを感じられる開放的な空間のある街として「クリーン&セーフティ、歩いて楽しい、みんなで作るまち」として災害に強い街づくりを目指しているとのことでした。また一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメント協議会では公共空間を活用した広告掲出による事業を進めるなど、今後もより良いものを目指していくとの説明がありました。

第2部では「丸の内の再構築・30年の振り返りとこれから～再開発とエリアマネジメント～」と題してNPO法人大丸有エリアマネジメント協会 事務局長の藤井宏章氏が講演。もともとオフィス街で土日は閑散としていた街が、丸ビルの建て替えから始まり、東京駅丸の内駅舎の復元工事など大手町・丸の内・有楽町再開発事業として現在のようになり土日も賑わいのある街へ変わってきた過程を説明。このエリアはもともと屋外広告の掲出が禁止区域、ただし東京都広告物審議会の特例として仲通りのフラッグは許可されており、街に彩りが生まれているとのこと。そしてこの広告料をエリアマネジメント事業の財源として活かしており、最近イベント開催の折に丸の内リンクサイネージなどによるエリアジャックやシャトルバスのラッピングが可能になり、広がりがでているとの説明がありました。



本セミナーは東京屋外広告協会会員を始め、広告関係の企業の経営者、自治体、団体、クリエイティブな分野に関わる方々などから申し込みが殺到し、会場の都合で参加を断る状態となりました。当日は参加者からそれぞれのエリアについて質問が相次ぎ、今後は品川、池袋、銀座、新宿など他のエリアの話も聞きたいなどこのようなテーマの関心の高さがうかがわれました。

The Visual Communication Company

キングプリンティング株式会社
www.kingprinting.co.jp

□ 東京支社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-12-7 ユニデン八丁堀ビル1階 ☎03(5117)2025

平成30年度事業計画

基本的考え方

日本経済は景気の回復基調が継続しプラス成長が続くとみられ、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催まで2年となり、平成30年度はますます期待が高まる1年になると考えられます。

当協会の平成30年度は2つの大きな行事を予定しています。まず平成29年度に70周年を迎え、その記念行事を本年11月の新東商ビル竣工に併せて行います。そして、隔年で実施している第11回東京屋外広告コンクールを実施します。その他引き続き円滑に事業活動を推進するため、新会員加入の促進など組織基盤の整備に努めると共に、事業については近年増加している車体利用広告デザイン審査のさらなるデザインの質の向上を目指して取り組んでいきます。

以上のように当協会はこれまで以上に都市環境美化の推進、維持を目指して広く周知することに努めると共に、東京の都市文化向上と、オリンピックなどを視野に入れたホスピタリティ溢れる街づくりの一助となるべく、会員を始め関係機関と協力しながら、屋外広告業界全体の向上を目指して下記の事業を展開してまいります。

記

【公益目的事業】

1. 「東京屋外広告コンクール」の隔年実施

- (1) 所定期間内に都内に掲出された屋外広告物を募集し、その中から優良作品を4部門に分けて東京都知事賞、東京商工会議所会頭賞、公益社団法人東京屋外広告協会会長賞として表彰する予定です。また、前回までの実施方法や審査の流れについて改善点等を検討し、受賞作品は業界紙による紹介や公共の場で展示など広く周知することに努めます。本件は今年も東京都及び東京商工会議所の後援を受け、関係団体の協力を得て実施する予定です。
- (2) 東京都都市整備局長奨励賞の第3回目を実施します。これまでと同様に東京屋外広告コンクール表彰式に併せて表彰を行います。同賞は車体利用広告デザイン審査案件の中から優れたデザインを東京都と公益社団法人東京屋外広告協会を選出し、広告主や制作者に広く周知することで車体利用広告全体のデザイン向上を図ることを目的としています。

2. 屋外広告に関するセミナー・施設見学会等の実施

屋外広告に関わる最新の状況、参考となる知識や情報、最近の経済社会状況などその時代に応じたテーマで、屋外広告関係の人材育成に繋げる他、会員を始め、広く情報提供を図ります。

3. 車体利用広告デザイン自主審査事業

電車、バス、タクシー、広告宣伝車の車体利用広告のデザイン審査を当協会の自主審査基準に基づいて行います。審査件数は平成23年より年間約400件前後に上っています。今後オリンピックを控えますますます増加することが予想され、本年度も良好な景観の保持並びに交通の安全等という観点にそって、よりスムーズな審査の実施を目指します。

4. 屋外広告に関する情報の収集・調査・研究及び普及啓発事業

- (1) 機関紙「TOAA REPORT」を年3回発行

東京屋外広告協会の活動の他、行政による屋外広告関係の施策や各方面の取り組み等、役立つ情

報を掲載し、会員のみならず広く都民に提供します。

(2) ホームページによる情報発信

機関紙「TOAA REPORT」を掲載するほか、当協会及び自治体や各関連機関の屋外広告に関わる取り組みや活動などを掲載し、広く情報提供します。

(3) 違反屋外広告物共同除却への協力

東京都が主導する都内各地における違法な放置看板、貼り紙等の共同除却作業に協力します。

[その他の事業]

5. 会員相互のコミュニケーション・交流の促進

組織の維持と様々な活動を円滑に行うために、会員相互のコミュニケーション及び広く他の機関との交流を図ることができる場作りに努めます。

6. 委員会活動、広報活動の強化

各委員会では屋外広告に関する様々なテーマを取り上げて、場合により外部講師や関係者を招き、広い視野で議論ができるように努めます。

さらに事業活動や委員会等での議論の成果、そして屋外広告に関する取り組みや活動について、当協会機関誌「TOAA REPORT」や、ホームページ、業界紙等を積極的に活用し事業者だけでなく都民等に広く周知されるように努めます。

7. 東京屋外広告協会 70 周年記念事業の実施

東京屋外広告協会は昭和 22 年に東京都と東京商工会議所により設立され、平成 29 年に 70 周年を迎えました。本年 11 月の新東商ビル竣工に併せて記念行事を行います。平成 30 年度の単年度のみの実施です。

(1) 記念式典（平成 31 年 1 月 29 日）

(2) 70 周年記念誌作成

機関誌「TOAA REPORT」増刊号として作成し会員のみならず、広く一般に役立つ内容を掲載します。

実施にあたり、当協会の複数の委員会（総務委員会、事業委員会、広報委員会編集小委員会）で協力して検討を進めます。

8. オリンピック開催に伴う屋外広告関係事業の検討

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて当協会として、事業等を検討します。

あらゆるニーズに応えます。

都 営 交 通 広 告 会

お問い合わせは

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-5 京橋スクエア
株式会社 春光社内

TEL 03-3538-9320(代) FAX 03-3538-9220

平成30年度収支予算

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1 普及啓発	小計	他1 相互コミュニ ケーション	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
特定資産運用益	0	0	0	0	2,000	0	2,000
①特定資産受取利息	0	0	0	0	2,000		2,000
受取入金	10,000	10,000	0	0	10,000	0	20,000
①入金	10,000	10,000	0	0	10,000		20,000
受取会費	6,154,800	6,154,800	535,200	535,200	2,230,000	0	8,920,000
①法人会員受取会費	5,464,800	5,464,800	475,200	475,200	1,980,000		7,920,000
②個人会員受取会費	193,200	193,200	16,800	16,800	70,000		280,000
③団体会員受取会費	496,800	496,800	43,200	43,200	180,000		720,000
④賛助会員受取会費	0	0	0	0	0		0
事業収入	4,287,500	4,287,500	3,932,500	3,932,500	0	0	8,220,000
①広告料収入	465,000	465,000	100,000	100,000	0		565,000
②行事参加費収入	112,500	112,500	2,612,500	2,612,500	0		2,725,000
③講習会費等収入	0	0	0	0	0		0
④屋外広告コンクール事業収入	1,560,000	1,560,000	0	0	0		1,560,000
⑤車体利用広告デザイン審査事業収入	2,150,000	2,150,000	0	0	0		2,150,000
⑥70周年記念事業収入			1,220,000	1,220,000	0		1,220,000
雑収入	0	0	0	0	1,000	0	1,000
受取利息	0	0	0	0	1,000		1,000
経常収益計	10,452,300	10,452,300	4,467,700	4,467,700	2,243,000	0	17,163,000
(2) 経常費用							
事業費	12,647,040	12,647,040	4,418,115	4,418,115		0	17,065,155
役員報酬	1,742,400	1,742,400	39,600	39,600			1,782,000
給料手当	1,449,000	1,449,000	42,000	42,000			1,491,000
退職給付費用	96,600	96,600	2,800	2,800			99,400
法定福利費	350,700	350,700	10,000	10,000			360,700
会議費	1,648,900	1,648,900	3,351,100	3,351,100			5,000,000
旅費交通費	615,400	615,400	15,800	15,800			631,200
通信費	206,600	206,600	25,350	25,350			231,950
消耗品費	58,000	58,000	500	500			58,500
外注費	2,950,000	2,950,000	550,000	550,000			3,500,000
荷造運賃	44,000	44,000	40,000	40,000			84,000
水道光熱費	17,600	17,600	1,100	1,100			18,700
賃借料	1,941,840	1,941,840	121,365	121,365			2,063,205
リース料	408,000	408,000	25,500	25,500			433,500
支払報酬料	670,000	670,000	165,000	165,000			835,000
諸会費	0	0	0	0			0
雑費	448,000	448,000	28,000	28,000			476,000

屋外広告・放送広告・交通広告・デジタルサイネージ事業

NAGATA

長田広告株式会社 東京支社 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル6F

Network営業部 TEL.03(3278)7321 FAX.03-3278-7322 媒体開発部 TEL.03(3278)7325 FAX.03(3278)7327

平成30年度収支予算

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1 普及啓発	小計	他1 相互コミュニ ケーション	小計			
管理費					2,744,145	0	2,744,145
役員報酬					198,000		198,000
給料手当					609,000		609,000
退職給付費用					40,600		40,600
法定福利費					139,300		139,300
広告宣伝費					65,000		65,000
交際費					51,000		51,000
会議費					317,000		317,000
旅費交通費					178,800		178,800
通信費					82,050		82,050
消耗品費					1,500		1,500
外注費					62,000		62,000
水道光熱費					3,300		3,300
賃借料					364,095		364,095
リース料					76,500		76,500
諸会費					15,000		15,000
支払報酬料					447,000		447,000
雑費					94,000		94,000
経常費用計	12,647,040	12,647,040	4,418,115	4,418,115	2,744,145	0	19,809,300
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,194,740	△ 2,194,740	49,585	49,585	△ 501,145	0	△ 2,646,300
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,194,740	△ 2,194,740	49,585	49,585	△ 501,145	0	△ 2,646,300
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0		0
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 2,194,740	△ 2,194,740	49,585	49,585	△ 501,145	0	△ 2,646,300



東京の“ど真ん中”に情報発信

東京地下鉄広告会

【事務局】
〒105-0003
東京都港区西新橋1-6-21
NBF虎ノ門ビル4階
株メトロアドエージェンシー
媒体本部 媒体管理局 管理部内
TEL 03-5501-7835
FAX 03-3593-6150

理事会・各委員会

70周年記念関連の事業などを審議

◆平成30年度事業計画・予算決まる～平成29年度 第3回理事会～

3月16日、丸の内二丁目ビルで平成29年度第3回理事会が開催され、冒頭、大久保会長から、「4月を前に平昌オリンピック・パラリンピックの選手の素晴らしい活躍を目の当たりにし、この一年を乗り切る上で多くの力を得ることができたのでは」などの挨拶がありました。

理事会は理事19名（理事25名）、監事3名の出席を得て、まず間宮総務委員長より総務委員会の報告の後、平成30年度事業計画、予算が審議され満場一致で承認されました。次に車体利用広告デザイン審査に係るアルコールやたばこ類に関わる注意事項を表示することが承認され、70周年事業については平成31年1月29日に記念式典・講演会の新東商ビルでの開催や記念誌作成などが決定しました。予算は70周年と東京屋外広告コンクールという2大イベントの開催、新東商ビルへの移転などがあり、概算で1900万円規模となり、前理事会で決定した通り会員より70周年のため特別会費の協力を進めることとなりました。

年間ページビューが約3倍増加 ～広報委員会

広報委員会（委員長：滝久雄 副会長・NKB会長）が2月20日に丸の内二丁目ビルで開催され、主に70周年記念誌作成について、また、昨年2月に刷新したホームページの年間ページビューが約16万9千となり、これまでの約3倍に増加したことが報告されました。

特別セミナー、70周年記念事業について ～事業委員会

事業委員会（委員長：大塚尚司 常任理事・オリコム社長）が2月23日に株式会社オリコムで開催され、特別セミナーの参加申込状況の報告の他、70周年記念事業記念講演の講師候補について3月16日開催の第3回理事会にて報告し、理事会の意見を踏まえ決めることとなりました。

新宿が変わる～新宿区まちづくり長期計画について話を聞く ～広告物振興委員会

広告物振興委員会（委員長：小野寺忠之 常任理事・春光社相談役）が2月27日に丸の内二丁目ビルで開催され、新宿区の担当者から「新宿区まちづくり長期計画」について説明があり、特に東西をデッキで結ぶ計画等新宿駅周辺の計画に関心が寄せられました。

黄色等の禁止色について今後協議することに ～車体利用広告デザイン審査委員会

車体利用広告デザイン審査委員会（委員長：福山達雄 常任理事・日広通信社社長）が3月2日に丸の内二丁目ビルで開催され、「車体広告デザインの留意事項」のホームページ掲載は理事会後に行うことを確認し、また黄色等の禁止色について今後協議していくこととなりました。

第3回理事会上程事項を審議 ～総務委員会

総務委員会（委員長：間宮泰三 常任理事・協立広告会長）が3月9日に協立広告株式会社会議室にて開催されました。主に平成30年度事業計画、予算、70周年事業について協議し、3月16日開催の第3回理事会に上程することを確認しました。

Energy of Communication

広告もeCO時代へ。

あらゆる面から広告という情報力をプロデュースし、お客さまのニーズに合った広告戦略をご提案してまいります。

KYORITZ
ADVERTISING AGENCY
協立広告株式会社

〒160-0007 東京都新宿区荒木町13-8 協立ビル Tel:03-3355-1911 Fax:03-3355-4170 URL:<http://www.kyoritz-ad.co.jp>

日本のサインと空間デザイン

鯉池 ～お風呂屋さんの池を“ビデオ彫刻”で再現～

「鯉池」は大田区の銭湯「はすぬま温泉」のリニューアルに伴いロビー床に設置したデジタルサイネージの仕組みを活用した“ビデオ彫刻”作品です。

“ビデオ彫刻”作品とは業界では映像を映像としてではなく、空間演出物として扱う手法のこと。

この作品は四季を感じさせるコンテンツで構成され、季節を感じながら寛げるだけでなく、たまに思いがけないキャラクターが出現するなど子供が楽しめる仕掛けも用意されています。



出典 月刊 Signs & Displays 2018 年1月号 (マスコミ文化協会発行) より

事務局だより

◆会議・行事等報告

- 第1回広報委員会
2月20日(火) 13時30分～14時30分 丸の内二丁目ビル
- 第2回事業委員会
2月23日(金) 13時30分～14時30分 オリコム会議室
- 第1回広告物振興委員会
2月27日(火) 13時30分～14時30分 丸の内二丁目ビル
- 第3回車体利用広告デザイン審査委員会
3月2日(金) 12時15分～14時 丸の内二丁目ビル
- 第3回総務委員会
3月9日(金) 13時30分～14時30分 協立広告会議室
- 第3回理事会
3月16日(金) 14時～15時 丸の内二丁目ビル
- 特別セミナー
3月20日(火) 13時30分～15時 学士会館
- 第1回編集小委員会
4月23日(月) 13時30分～14時30分 春光社会議室

監事会

- 5月8日(火) 12時～13時30分 丸の内二丁目ビル
- 第1回総務委員会
5月10日(木) 13時30分～14時30分 協立広告会議室
- 第1回理事会
5月14日(月) 14時～15時 丸の内二丁目ビル

◆会議・行事等予定

- 第90回定期総会
6月14日(木) 15時～16時 LEVELXXI 東京會館
- 会員相互の交流会
6月14日(木) 16時～17時 LEVELXXI 東京會館
- 第1回車体利用広告デザイン審査委員会
7月中旬予定 丸の内二丁目ビル

お知らせ

東京屋外広告協会70周年記念式典・講演会・懇親会の日程
日 時：平成31年1月29日(火) 15時～18時頃
会 場：新東商ビル会議室(式典・講演会) 東京會館(懇親会)

<http://www.ad-nikko.co.jp>

伝えることが仕事です。



総合広告代理店
株式会社日広通信社

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-3-3 新麹町ビル2階 TEL.03-3263-3521(代) FAX.03-3263-3509

サイン・ディスプレイ/POP制作

電柱・交通広告/マスメディア

デザイン・印刷物・販促プランの提案

展示会トータルプロデュース

出展ブース企画・運営